

# さくら さくら さくら

詞 奥田 祐子 曲 松本 幸子

ふる さとはなれてはじ めてのはる と どいた手づくりの おしばな げん  
きですかと書かれ た手がみに は さんでありました  
あれからすいぶん ときはながれた いせつなものが できたけど かあ  
さん あの日のし おりは ず っとこころ にあ ります  
さくら さくら さくら だれもみな むねのおくに さく  
ら さくら さくら わす れ えぬひとが いる ふわ  
り はらり きらり だれもみ な ときをこえ て さく  
ら さくら さくら わす れ えぬものがある

2 ふるさとへ急ぐあの帰り道  
見つけた花盛り並木道  
こんなにきれいな川辺なんだと  
はじめて知りました  
生きていてくれる ただそれだけで  
ああ 支えられてたんだと  
父さん あの日の並木道は  
最後の贈り物ですね

さくら さくら さくら 誰もみな 胸の奥に  
さくら さくら さくら 色あせぬ人がいる  
ふわり はらり きらり 誰もみな 時を超えて  
さくら さくら さくら 色あせぬ景色がある